

2023年3月期第1四半期 決算説明資料

東京証券取引所スタンダード市場 証券コード：5162



サマリー

- 2023年3月期第1四半期は、卓球ラケット用ラバーや医療用ゴム製品の受注が回復し、大きく売上げを伸ばしたが、ASA COLOR LEDなど自動車向けゴム製品の受注の回復が遅れ、減収減益となった。
- 2023年3月期第2四半期の業績予測は、各利益について、当第1四半期で5月12日時点の予測を超えたため、足元の状況を踏まえて上方修正する。
- 2023年3月期通期の業績予測は、下期以降の見通しが不透明なことから5月12日時点の予測から変更なし。

2023年3月期第1四半期決算説明資料 目次

I. 2023年3月期第1四半期決算実績

1. 連結決算実績	3
2. 中期事業分野別実績	4
3. 主要製品実績	5～8

II. 2023年3月期第2四半期見通し

1. 連結第2四半期予測修正	9
----------------	-------	---

III. 2023年3月期通期見通し

1. 連結決算見通し（前年比）	10
2. 中期事業分野別見通し	11
3. 主要製品の通期売上見通し	12
4. 連結設備投資計画	13
5. 配当計画	14

I-1. 連結第1四半期決算実績（前期比）

（単位：百万円、％）

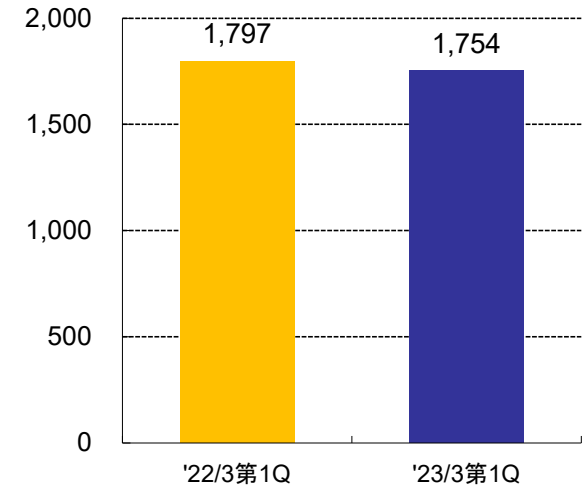
	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率
売上高	1,797	100.0	1,754	100.0	▲2.4
売上総利益	417	23.2	437	24.9	4.8
営業利益	78	4.3	70	4.0	▲9.8
経常利益	82	4.6	80	4.6	▲2.6
四半期純利益	61	3.4	69	3.9	12.7

● 医療用ゴム製品と卓球ラケット用ラバーの受注が回復。

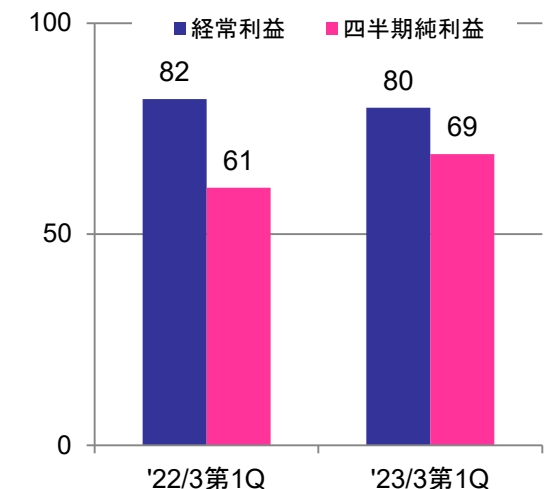
（単位：百万円、％）

セグメント別	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率
工業用ゴム事業	1,511	84.1	1,420	80.9	▲6.0
医療・衛生用ゴム事業	286	15.9	334	19.1	16.9
売上高	1,797	100.0	1,754	100.0	▲2.4

（単位：百万円） 連結売上高実績



（単位：百万円） 連結損益実績



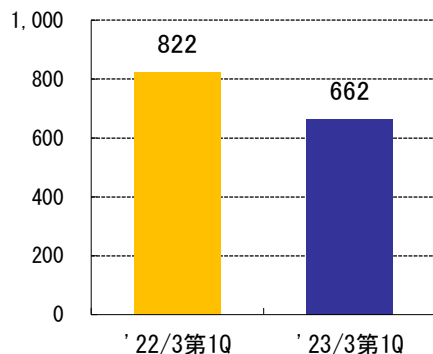
I-2. 中期事業分野別実績

(単位: 百万円、%)

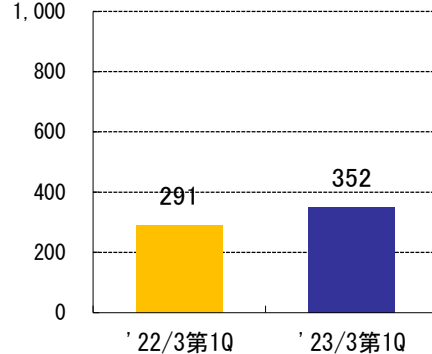
事業別売上高	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
光学事業	822	45.8	662	37.8	▲19.5
医療・ライフサイエンス事業	291	16.2	352	20.1	20.9
機能事業	530	29.5	595	33.9	12.1
通信事業	152	8.5	144	8.2	▲5.2
売上高合計	1,797	100.0	1,754	100.0	▲2.4

(単位: 百万円)

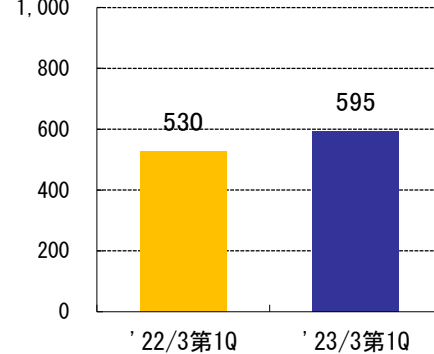
光学事業



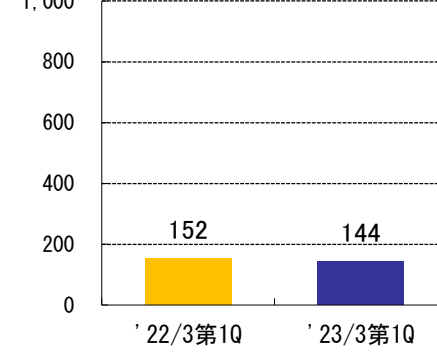
(単位: 百万円) 医療・ライフサイエンス事業



(単位: 百万円) 機能事業



(単位: 百万円) 通信事業



●ASA COLOR LEDの受注が中国ロックダウンや半導体不足などの影響により減少。

●医療用ゴム製品の一部製品で在庫調整は終息してきており、受注が回復。

●卓球ラケット用ラバーの受注が大きく増加。スイッチ用ラバーなど自動車向けゴム製品の受注は伸び悩む。

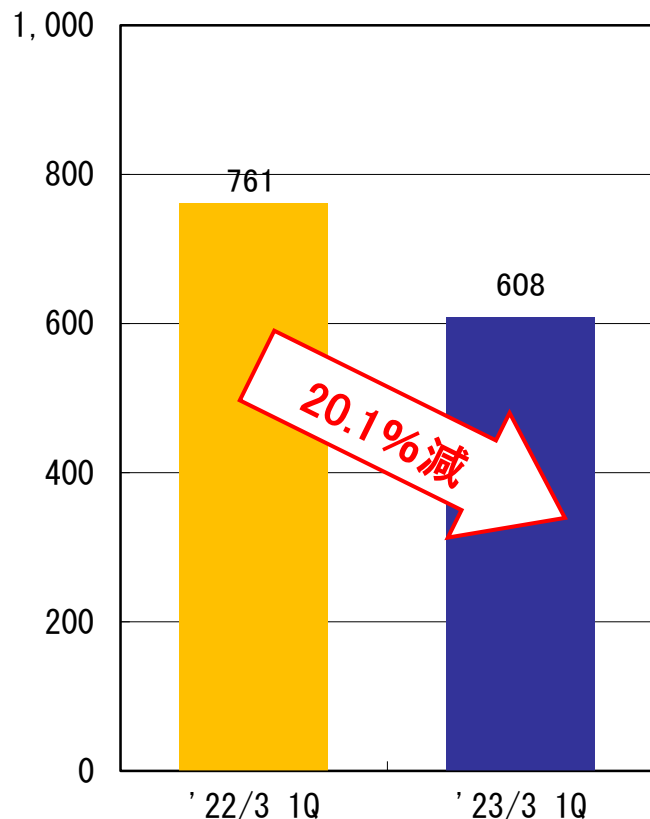
●RFIDタグ用ゴム製品の受注は、北米市場での新型コロナの影響からの回復ペースが鈍い。

I-3. 主要製品実績 – ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

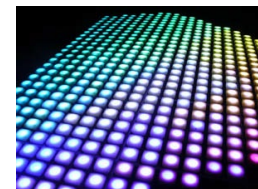
光学事業

(単位:百万円) 連結売上高推移

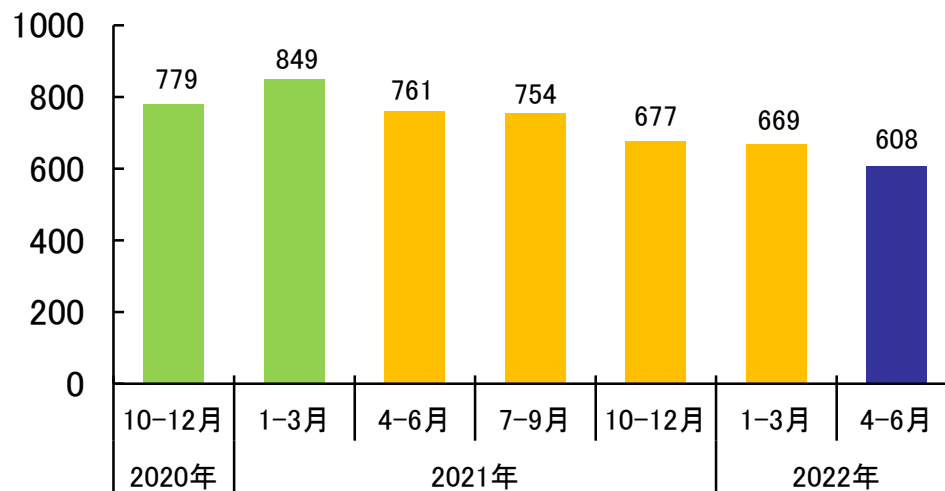


ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。



(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



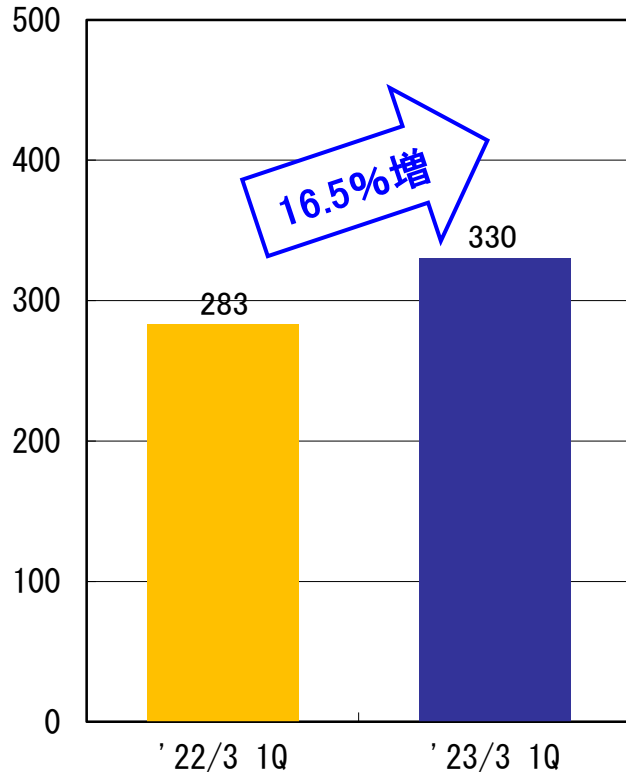
● 中国のロックダウンや半導体不足などの影響により、受注が減少傾向。

I-3. 主要製品実績－医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

(単位:百万円) 連結売上高推移



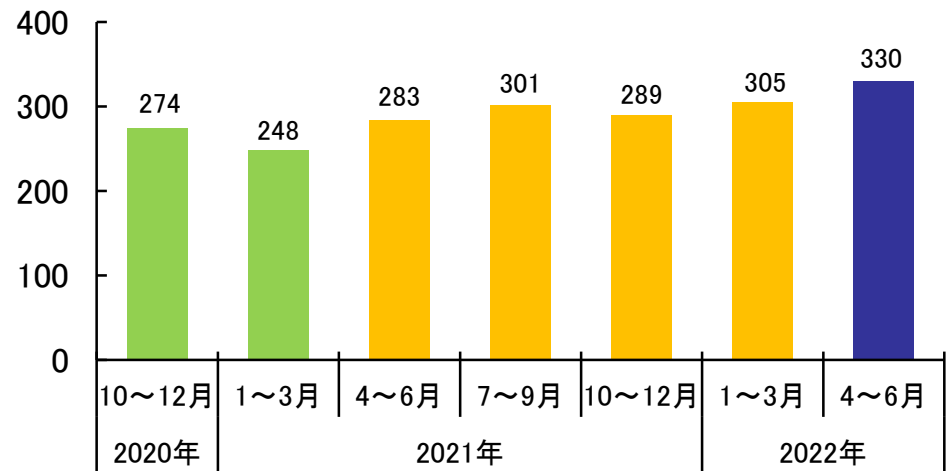
医療用ゴム製品

プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)用ガスケット、採血用・薬液混注用ゴム栓など、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。



四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



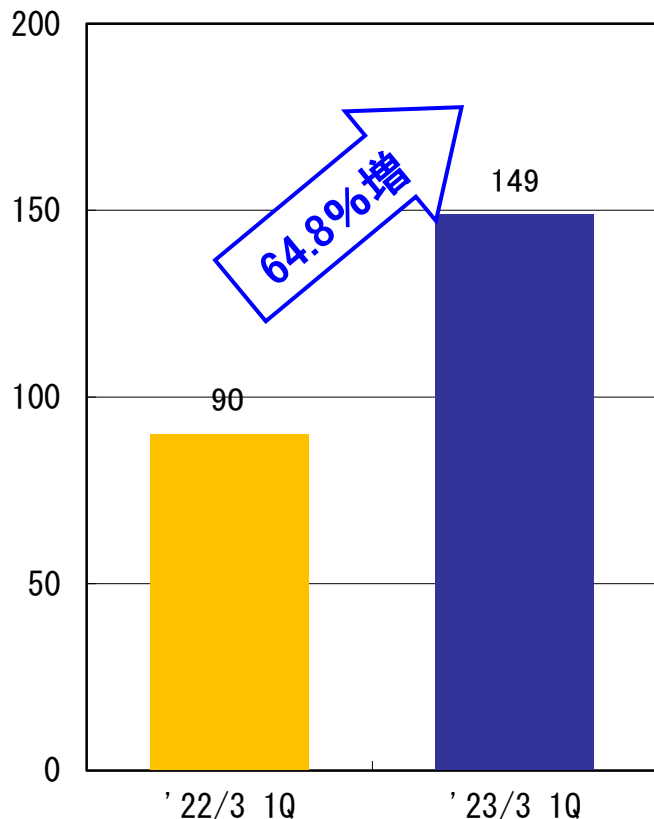
●一部製品の在庫調整が終息し始め、売上高の回復傾向が鮮明。

I-3. 主要製品実績 – 卓球ラケット用ラバー

工業用ゴム事業

機能事業

(単位:百万円) 連結売上高推移



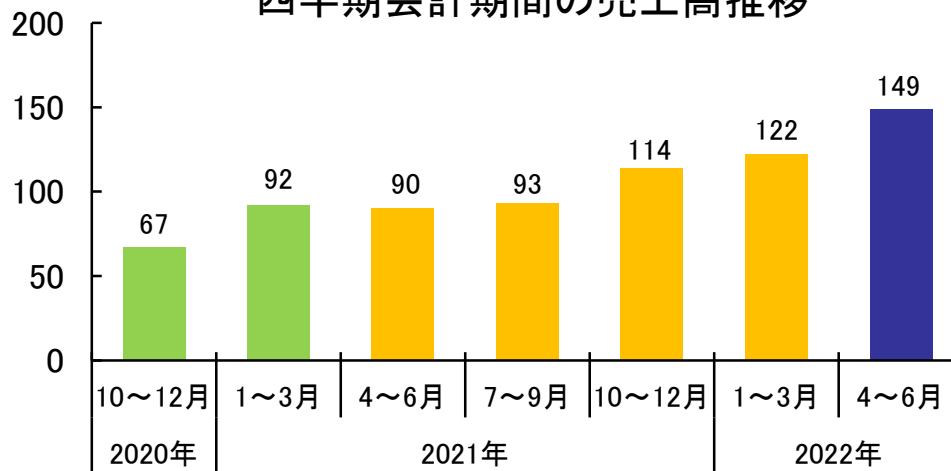
卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



(単位:百万円)

四半期会計期間の売上高推移



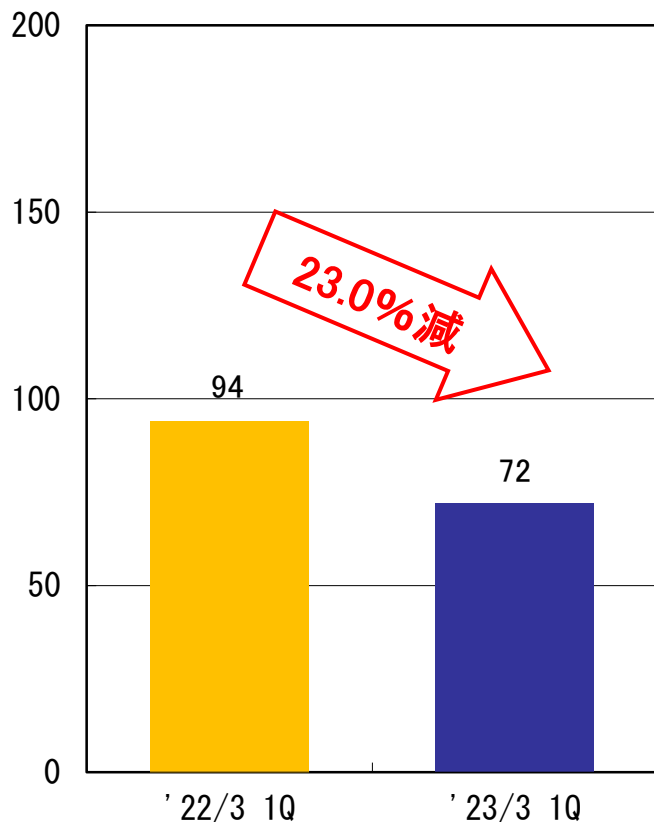
- 競技再開と円安による顧客の海外市場での競争優位性向上から受注が増加。

I-3. 主要製品実績 – RFIDタグ用ゴム製品

工業用ゴム事業

通信事業

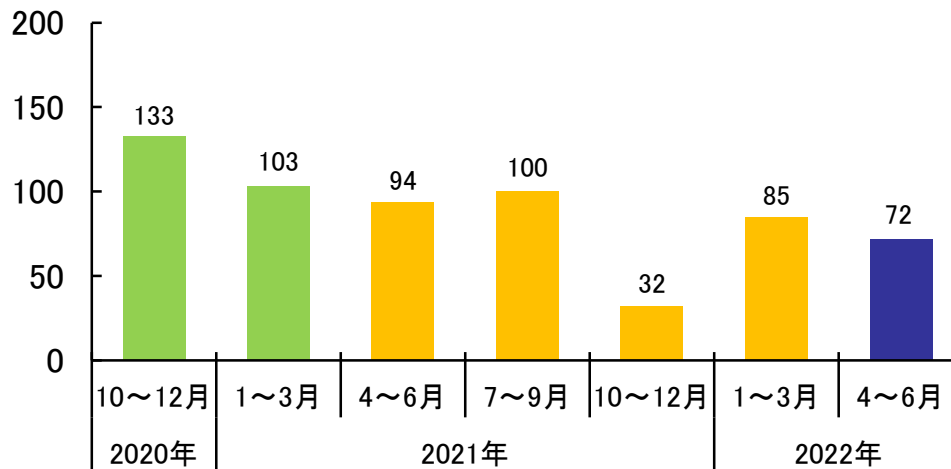
(単位: 百万円) 連結売上高推移



- 溶剤を使わずに接着させる“分子接着・接合技術”を応用し、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグ。



(単位: 百万円) 四半期会計期間の売上高推移



- 最終ユーザーの北米市場において新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要低迷が続き、受注の減少傾向が続いた。

Ⅱ-1. 2023年3月期第2四半期業績予測修正

(単位:百万円、%)

	第1四半期業績 (4~6月)		第2四半期累計期間 (2022年5月12日時点)			第2四半期修正 (2022年8月8日)				
	実績	構成比	予測	構成比	前年同期 増減率	累計期間 (4~9月)			会計期間 (7~9月)	
						予測	構成比	前年同期 増減率	予測	構成比
売上高	1,754	100.0	3,610	100.0	▲0.6	3,519	100.0	▲3.1	1,765	100.0
売上総利益	437	24.9	807	22.4	▲6.8	853	24.2	▲1.5	416	23.6
営業利益	70	4.0	59	1.6	▲66.5	110	3.1	▲37.5	40	2.3
経常利益	80	4.6	57	1.6	▲68.0	121	3.4	▲32.1	41	2.3
四半期純利益	69	3.9	37	1.0	▲72.7	100	2.8	▲26.3	31	1.8

- 第1四半期は自動車用のASA COLOR LEDの受注が、中国のロックダウンや半導体不足などの市場への影響により減少傾向となったが、これからの需要回復が期待できることから生産を平準化し、在庫の積み増しを実施した。
- 第2四半期予測は自動車向け製品の受注が計画より減少する見込みだが、第1四半期から実施している生産性改善とコスト削減で、利益指標は当初計画より上方修正する。
- 第2四半期会計期間の7~9月は、ASA COLOR LEDの生産水準を徐々に下げる計画。

Ⅲ-1. 2023年3月期連結決算見通し（前期比）

（単位：百万円、％）

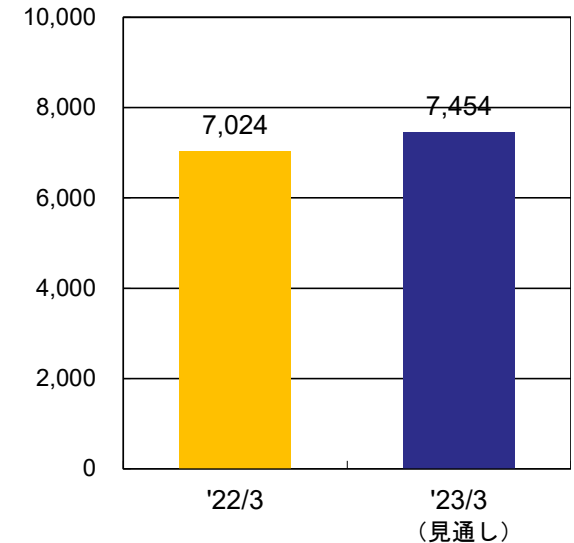
	2022年3月期		2023年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
売上高	7,024	100.0	7,454	100.0	6.1
売上総利益	1,691	24.1	1,781	23.9	5.3
営業利益	291	4.1	255	3.4	▲12.5
経常利益	313	4.5	251	3.4	▲19.8
当期純利益	238	3.4	187	2.5	▲21.6

- 各分野の市場の回復傾向から増収見込み。
- ウイズコロナ環境での活動を広げることから販管費が増加予定。
- 通期業績予測は5月12日時点から変更なし。

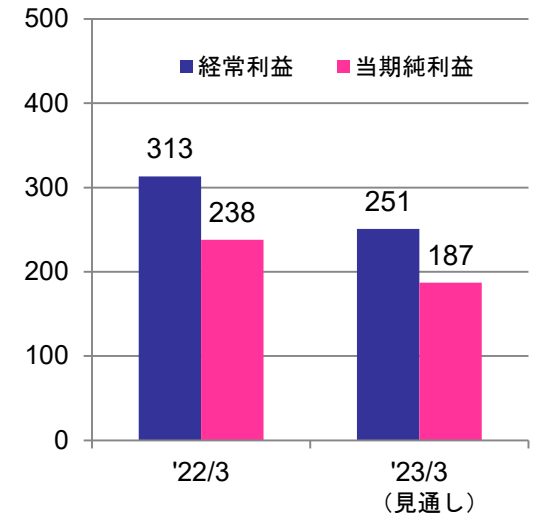
（単位：百万円、％）

セグメント別	2022年3月期		2023年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	5,830	83.0	6,180	82.9	6.0
医療・衛生用ゴム事業	1,193	17.0	1,274	17.1	6.7
売上高	7,024	100.0	7,454	100.0	6.1

（単位：百万円） 連結売上高見通し



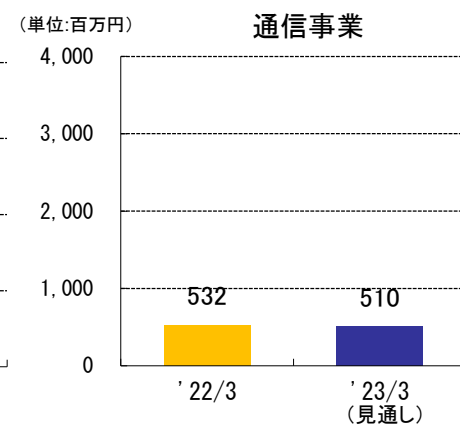
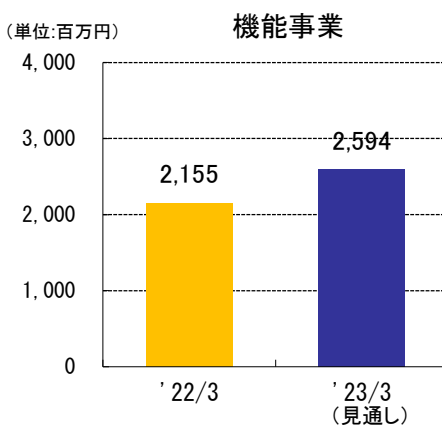
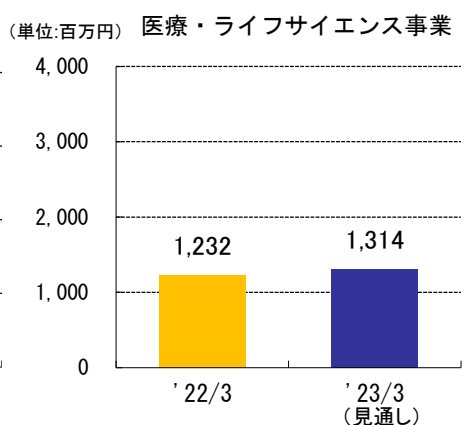
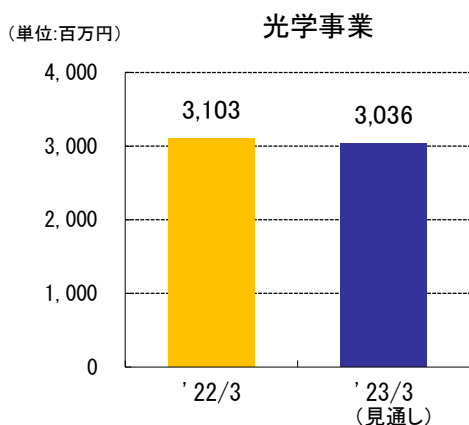
（単位：百万円） 連結利益見通し



Ⅲ-2. 中期事業分野別見通し

(単位:百万円、%)

事業別売上高	2022年3月期		2023年3月期		前期増減率
	実績	構成比	見通し	構成比	
光学事業	3,103	44.2	3,036	40.7	▲2.2
医療・ライフサイエンス事業	1,232	17.6	1,314	17.6	6.6
機能事業	2,155	30.7	2,594	34.8	20.4
通信事業	532	7.6	510	6.8	▲4.2
売上高合計	7,024	100.0	7,454	100.0	6.1



●ASA COLOR LEDは、第2四半期までの受注減が影響。

●一部の医療用ゴム製品の在庫調整は、第2四半期以降回復。

●卓球ラケット用ラバーの受注が好調で新製品も量産開始。自動車向けスイッチ製品も徐々に回復する見通し。

●RFIDタグ用ゴム製品の受注は徐々に回復傾向だが、事業全体ではほぼ横ばい。

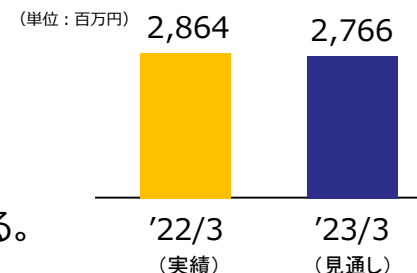
Ⅲ-3. 主要製品の通期売上見通し

ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

- ・第2四半期まで自動車市場の影響を受け、受注減の見通し。
- ・第3四半期から徐々に受注は回復の兆しが見えつつあるが、市場の情勢に不透明が残る。

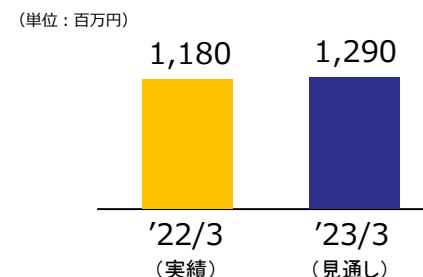


医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

- ・一部の用途の製品の在庫調整の解消傾向は徐々に継続する見通し。
- ・逆止弁の新規製品の市場投入を急ぐ。

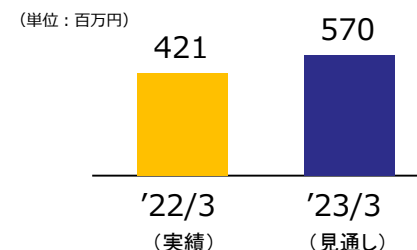


卓球ラケット用ラバー

工業用ゴム事業

機能事業

- ・市場の需要回復により、さらに受注が拡大する見通し。
- ・既存製品の受注増と年後半からの新製品の生産スタートで売上高増加の見込み。

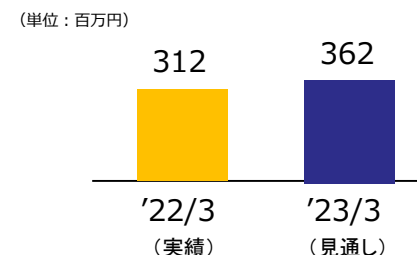


RFIDタグ用ゴム製品

工業用ゴム事業

通信事業

- ・北米市場の回復や半導体不足の不透明さがあるものの、受注は徐々に回復傾向。



Ⅲ-4. 2023年3月期連結設備投資計画

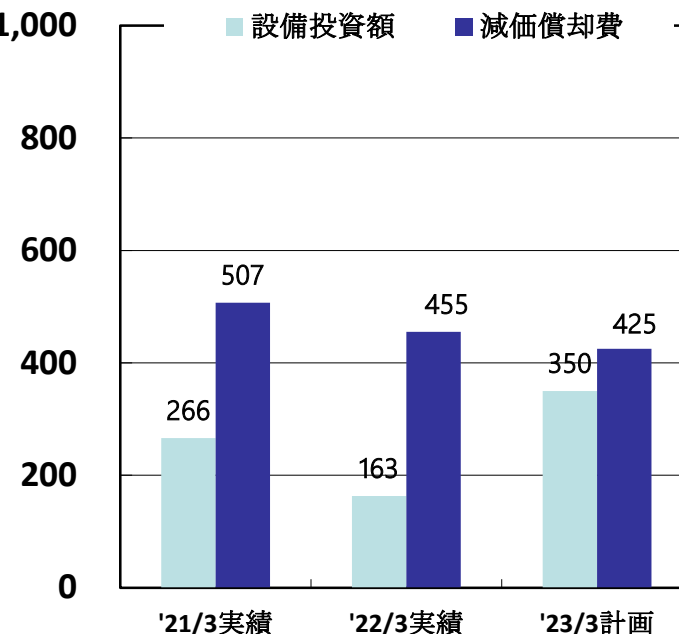
設備投資額 約350百万円

減価償却費 425百万円

(単位:百万円)

1,000

事業分野別設備投資内訳	
光学事業	65百万円
医療・ライフサイエンス事業	90百万円
機能事業	135百万円
通信事業	35百万円
その他	25百万円



法人・分野別設備投資内訳

朝日ラバー	305百万円	全事業
東莞朝日精密橡膠制品	45百万円	機能事業

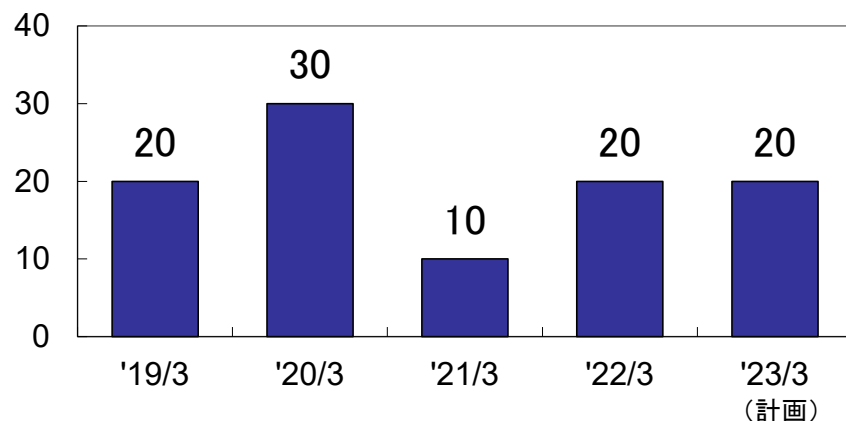
- 機能事業の自動車向けゴム製品と卓球ラケット用ラバーの受注増に対する増産投資を予定。

Ⅲ-5. 2023年3月期配当計画

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
中間配当	—	10円	10円 (計画)
期末配当	10円	10円	10円 (計画)
年間	10円	20円	20円 (計画)

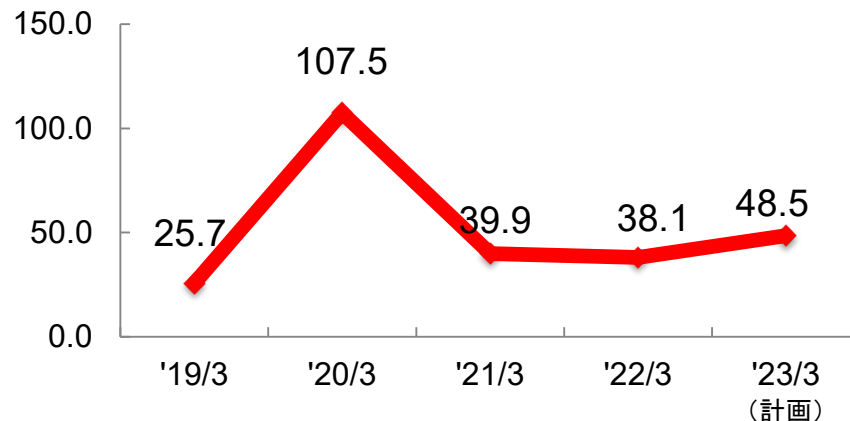
(単位:円)

一株当たり配当金推移



(単位:%)

連結配当性向推移



- 業績が安定していることから、中間配当、期末配当とも一株当たり10円を計画。

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理本部経営企画部
TEL 048-650-6056